



詳細な「議論」で 新年度予算をチェック!!

「ギョウ」の視点で新年度予算をピックアップしてみました☆

令和4年予算特別委員会は、3月3日に議長を除く17名で設置され、委員長に大澤映男委員、副委員長に高草木良江委員を選出し、審査を行いました。

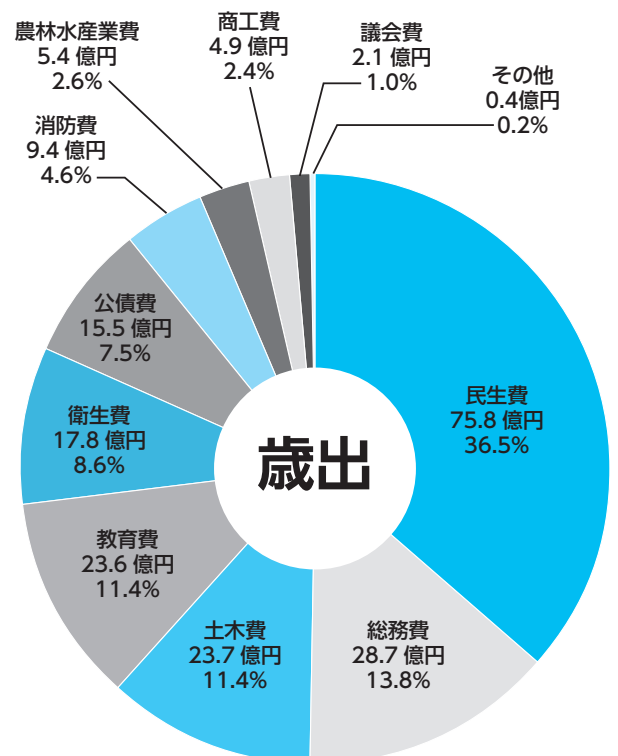
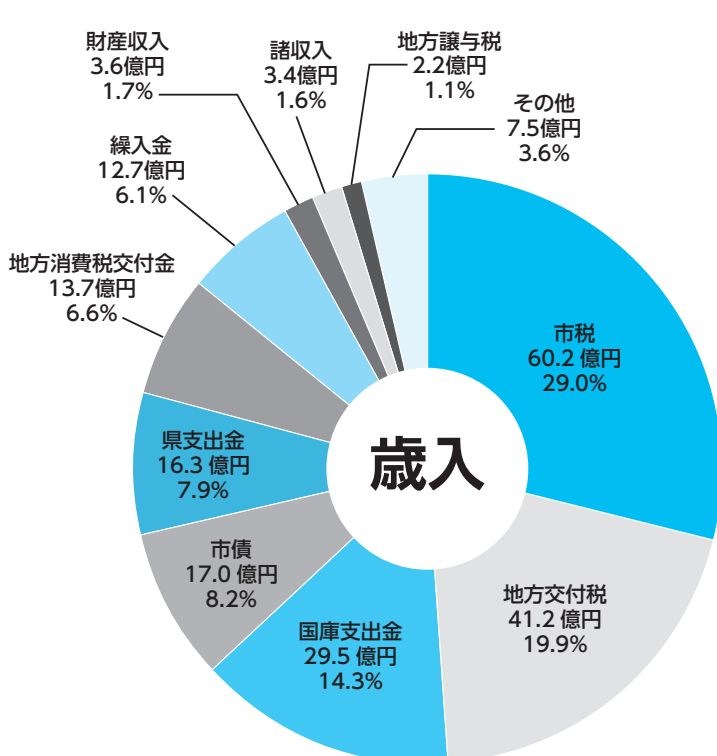
予算の立案過程は透明なものか、それに基づく事業は市民の思いに添っているのかなど、さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論を交わしました。



大澤映男 予算特別委員長

令和4年度 一般会計予算概要

予算総額 207億3,100万円
(対前年度比 4.0%減)



新年度予算をピックアップ

●デジタル化推進事業

【企画課】

問 WEB会議システムの利用促進の考え方は。

答 コロナ禍における新しい生活様式の1つとして、WEB会議を行う回数が少しずつ増えてきている。今

後は利用者の状況に合わせられるような環境づくりを行い、市民の積極的な活用促進を図り、デジタル化の推進が市民にとってメリットとなるような効果的な取り組みも行っていく。利便性の向上という面からも取り組んでいく。



●重層的支援体制整備事業

【社会福祉課】

問 本事業の周知方法について。また、実施体制については。

答 福祉のなんでも相談として、高齢、障がい、子ども、貧困など多分野にわたる市民の困りごとや相談に対する支援、生活の立て直しに向けた住まい確保など、長期的に行うため、重層的支援会議を開催し、支援機関の役割分担や方向性、既存の事業を含めた支援の決定、定着させるまでの見守りなどについて協議、決定する。事業の周知方法については、パンフレットの全戸配付や出前講座の実施などを行う。実施体制については、保健福祉部の各課で体制を構築していくが、相談内容によっては関係団体にも事業に参加してもらい、柔軟な対応を図っていく。

●学校給食管理事業

【教育総務課】

問 幼稚園、小学校、中学校それぞれの給食1食当たりの材料費についておよび物価上昇に伴い料金の見直しはされるのか。また、市産食材の使用は。

答 材料費については、平成27年から改定していない。1食当たりの材料費は、幼稚園が225円、小学校が244円、中学校が287円。今後食材の値上げが予想されるため、料金の見直しを行うことも考えていく必要がある。また、市産食材については、事業者と情報共有しながら生野菜を中心に増やしていきたいと考えている。

●環境衛生総務事業

【生活環境課】

問 本事業の詳細について。また、事業の対象となる地域が指定されているが、その理由については。

答 クビアカツヤカミキリによる被害予防対策として、群馬県の補助を受けて桜の木やハナモモなどの桜桃類に対して予防材を注入する。群馬県により対象地域が指定されているが、予防対策ということで、被害に遭った地域の周辺が予防地域となり、大間々町桐原から東町までのエリアが対象となっている。



「議員の視点」で

●情報収集等業務効率化支援事業

【農業委員会事務局】

問 タブレットを購入して現場に生かすということだが、具体的な活用方法は。

答 農業委員会では、農業委員などにより農地の利用状況調査、遊休農地所有者に対して利用意向調査を行っている。令和4年度からはその調査を実施する際に、タブレットを活用することを考えている。これまでは紙ベースで行っていたが、農業委員にタブレットを持ち出して活用していただくことで、農業委員の負担軽減、事務の効率化、ペーパーレス化につながると考えている。



●リノベーションまちづくり事業 【観光課】

問 都市課題分析の業務委託は、どのような事業者へ委託していく考えなのか。また、リノベーションスクールの実施方法や人材育成についての考えは。

答 委託先は、リノベーションまちづくりの取り組みについて、全国で多くの実績を有している事業者への委託を予定している。リノベーションスクールは、現在の計画では令和5年度に1回、令和6年度に2回、合計3回実施する予定。受講生を募集する中で未来の民間プレーヤーを創出していく。

●花の里づくり事業 【観光課】

問 フラワリレーション in みどりの消耗品費159万5,000円、写真撮影委託料66万円、物品作成委託料406万円の内容については。また、花印の設置場所は。

答 消耗品費では、ハナモモの苗木の購入、スタンプラリーの商品代などを予定している。写真撮影委託料では、ドローンを使った花の名所を撮影し、その動画をSNS上に掲載して市内の花の名所をPRしていく。物品作成委託料では、フラワリレーションPR用物品作成業務として、花印帳の作成などを委託する。花印設置場所は、岩宿博物館や富弘美術館といった市内施設などを予定。関係課と連携し、施設の入館促進や周辺店舗の消費拡大にもつなげられるようなマップを作成していく。

●橋梁長寿命化事業 【建設課】

問 令和3年度当初予算と比較して1,700万円減額になっているが、「令和4年度当初予算の概要」による

と、本事業については、予算額が減額になったにも関わらず事業が「拡充」となっているため、予算以外の要因があるのか。

答 本事業は令和3年度のほうが予算規模が大きく、工事数は4本を実施した。令和4年度は、工事数は5本を予定しており、令和3年度と比較し小規模ながらも、事業数としては増加しているため、事業拡充といった表現をしている。

